

# 進路だより 第3号

2021.7.2

宇都宮市立陽西中学校  
進路指導部

梅雨のじめじめした季節となりました。体調を崩しやすい時期ですが、夏休みまでもう少し。油断できない状況は続きますが、気を引き締めて生活していきたいものです。

さて、1年生は冒険活動教室、3年生は修学旅行と大きな行事を終え、友だちとの深いかかわりの中から学ぶこともたくさんあったのではないかと思います。これらの行事を通して、人としてより大きく成長できたのではないのでしょうか。進路というのは生き方に大きく関わる部分です。感じ取ったことをそれぞれ大切にしながら思いやりや協力、時には我慢する力などを身に付けていってほしいと思います。また、2年生は社会体験学習に向け動き始めたところです。社会と直接かかわれる貴重な機会ですので、より多くのものを持ち帰ってきてほしいと思います。働くことや社会につながっていくことなど、自分の将来を考えながら体験ができるよう、準備をしっかりと臨みましょう。



## 夢を叶えること・目標をもつこと

一昨年、学校では WILL ナビ講演会という行事でビーチバレーボール選手の石島雄介選手をお招きし、講演をしていただきました。3年生のみなさんは目の前で強烈なスパイクなどを披露していただいたので、記憶にあるかと思います。この度、ゴッツの愛称で親しまれている石島選手が、晴れて東京オリンピックの代表に選出されました。

石島選手は2008年の北京オリンピックでバレーボールの選手として活躍したのち、ビーチバレーに転向し、再度オリンピックを目指していました。けがや挫折など、さまざまな問題に積極的に立ち向かってつかんだ今回の東京オリンピック出場。講演のお話の中から、印象に残る言葉をみなさんに贈ります。



(大会の様子 右が石島選手)

「流した汗は裏切らない」

高校の後輩、プロゴルファーの石川遼選手もこの言葉に感銘をうけたそうです。



講演時の石島選手

「褒められるために戦うんじゃなく、ちゃんと努力して褒められたい」

「競技をやる上で大切なのは思いやり」

「弱い自分を受け入れ分析する」  
「紙に書きたい口に出したいすることと夢がかなう確率は高くなる」



「緊張して80%の力しか出せないなら、練習で最高値を上げ、本番前によくシミュレーションすることが必要」



身長は198 cm。バレー部と交流しました。

「自分は『いつも通りやれば大丈夫だよ』と言われるくらい練習している」



写真では伝わりにくいですが、すごいジャンプカと強烈なスパイク

夢に向かって真摯に取り組む姿勢から学ぶことがたくさんありました。夢があるから強くなれる、ともいえるかもしれませんが。スポーツになぞらえて語ってくださったことは、自分に置き換えるとどうなるでしょうか。

「コーチはサポートしてくれるがやるかどうかを決めるのは自分自身」